

佐賀大学美術館  
事業報告及び  
自己点検・評価報告書  
令和4年度

令和5年3月

佐賀大学  
美術館

# 目 次

## I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

概 要	.....
沿 革	.....
組 織 図	.....

### ○ 令和4年度の活動

- 1) 展示記録(主催)
- 2) 展示記録(企画申請)
- 3) 実習
- 4) 刊行・掲載・見学・職員研修
- 5) 寄付
- 6) 入館者一覧

## II 自己点検・評価

- 1 令和4年度の主な活動に関する自己点検・評価
- 2 今後の課題等

# I 佐賀大学美術館の現況及び特徴

## 概 要

平成 25 年 10 月，旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合 10 周年記念事業の一つとして開館。美術館と併せて整備された正門エリアは「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴し，門扉のない低い正門，そして，水平線が強調され，ガラス張りのファサード（正面）をもつ美術館から成る。そして，佐賀大学美術館は，より多くの人に総合大学である佐賀大学の魅力を知っていただくための情報発信の場として建設された。

平成 15 年の国立大学法人法の制定以来，国立大学はそれまで以上にそれぞれの特徴を打ち出し，存在意義を明確にしなければならなくなった。佐賀大学の特色や強みは何かと言われたとき，60 年以上の歴史を誇り，多くの優れた美術・工芸分野の教員，作家，デザイナーなどを輩出してきた美術・工芸教室の実績は地域に確たる歴史を刻んでいる。このような歴史と実績を背景とし，新生佐賀大学の 10 周年を記念する事業の一つとして，佐賀大学美術館建設はスタートした。総合大学であるにもかかわらず，博物館や資料館ではなく，美術館が建てられた理由もそこにある。

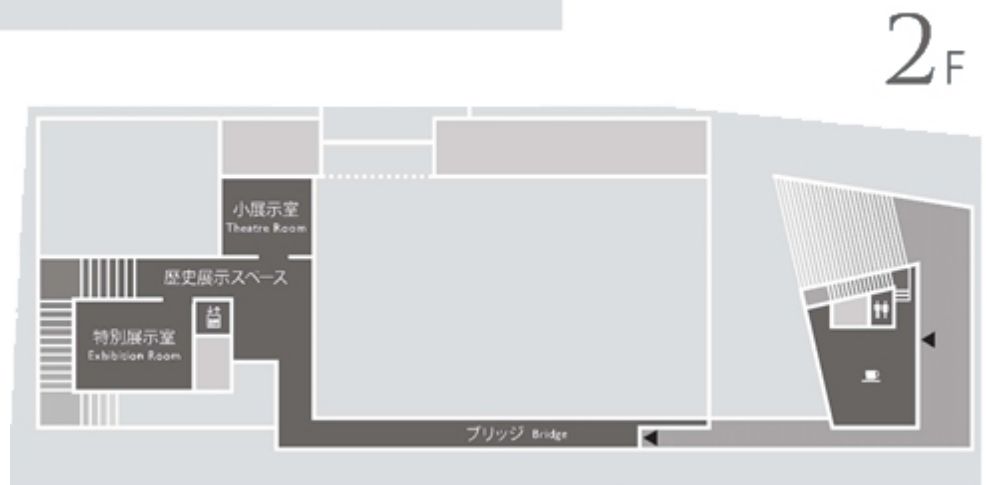
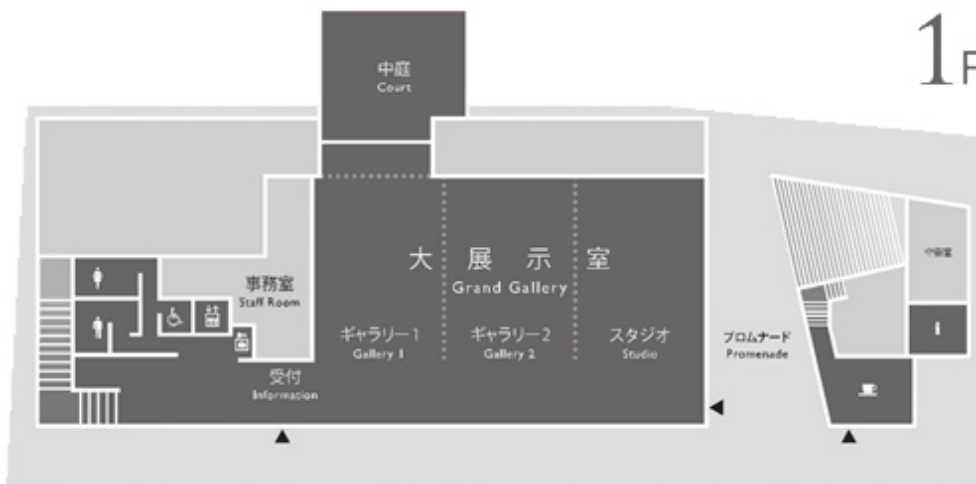
一方，佐賀大学は「COC（センター・オブ・コミュニティ）」を大学の理念として掲げている。すなわち，佐賀大学の大学としての大きな存在意義とは，地域貢献にある。佐賀大学は，佐賀大学美術館を通して地域の文化芸術の促進に貢献するとともに，佐賀大学美術館が地域の人々のコミュニケーションの場となる使命を有するのは，そのような理由があるからである。

佐賀大学美術館は，佐賀大学が所有する資料の公開や，特別教科（美術・工芸）教員養成課程以来の美術作品を収集・保管・展示するとともに，美術の新しい活動や表現を地域の人々とともに作り上げていく。また，佐賀大学美術館は，総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していく。

博物館法に定められた美術館の機能である 1) 調査・研究 2) 資料の収集・保存・公開 3) 教育普及の柱を堅持しつつ，なおかつ佐賀大学美術館は，これらの機能に加えて大学の研究教育機関としての役割，すなわち，全学的な教育研究成果の発表，美術教育研究成果のアーカイブ化などを果たしていく。このような「社会教育の場」であるとともに，「大学の教育研究機関」でもあるという位置付けこそが佐賀大学美術館の特徴であり，学生の教育のために積極的にその場を提供し，また，美術館自体も博物館活動を通じて学生への教育を担う。

## 【館概要】

名称	佐賀大学美術館
所在地	佐賀市本庄町1番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株)梓設計九州支社 [協力:(株)ワークヴィジョンズ]
監理	佐賀大学環境施設部
施工	建築:金子建設(株) 電気:(株)佐電工 機械:(株)九電工
構造	鉄骨造・地上2階建
延床面積	1,502 m <sup>2</sup>
展示面積	462 m <sup>2</sup> ギャラリー1 106 m <sup>2</sup> ギャラリー2 106 m <sup>2</sup> スタジオ 111 m <sup>2</sup> 特別展示室 48 m <sup>2</sup> 小展示室 34 m <sup>2</sup> 歴史展示スペース 57 m <sup>2</sup>
その他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設備	トイレ 多目的トイレ ロッカー
併設	カフェ (2018年11月まで)





## 【沿革】

2011年1月4日	学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表
6月8日	佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告。 美術館の設置を審議・了承。同時に3WG(設置募金、利用、建設)についても報告
12月20日	美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定
2012年2月22日	佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承
5月14日	基本設計納入
12月29日	美術館実施設計終了
2013年2月14日	新営工事起工式
6月26日	美術館規則、美術館運営委員会規定制定
8月30日	美術館建設工事竣工
9月28日	佐賀大学統合10周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典
10月2日	一般公開開始
2014年10月24日	入館者5万人達成
2015年1月22日	第18回佐賀市景観賞受賞
2016年2月19日	入館者10万人達成
2018年12月8日	入館者20万人達成
2020年12月2日	入館者25万人達成

## 〔設立主旨〕

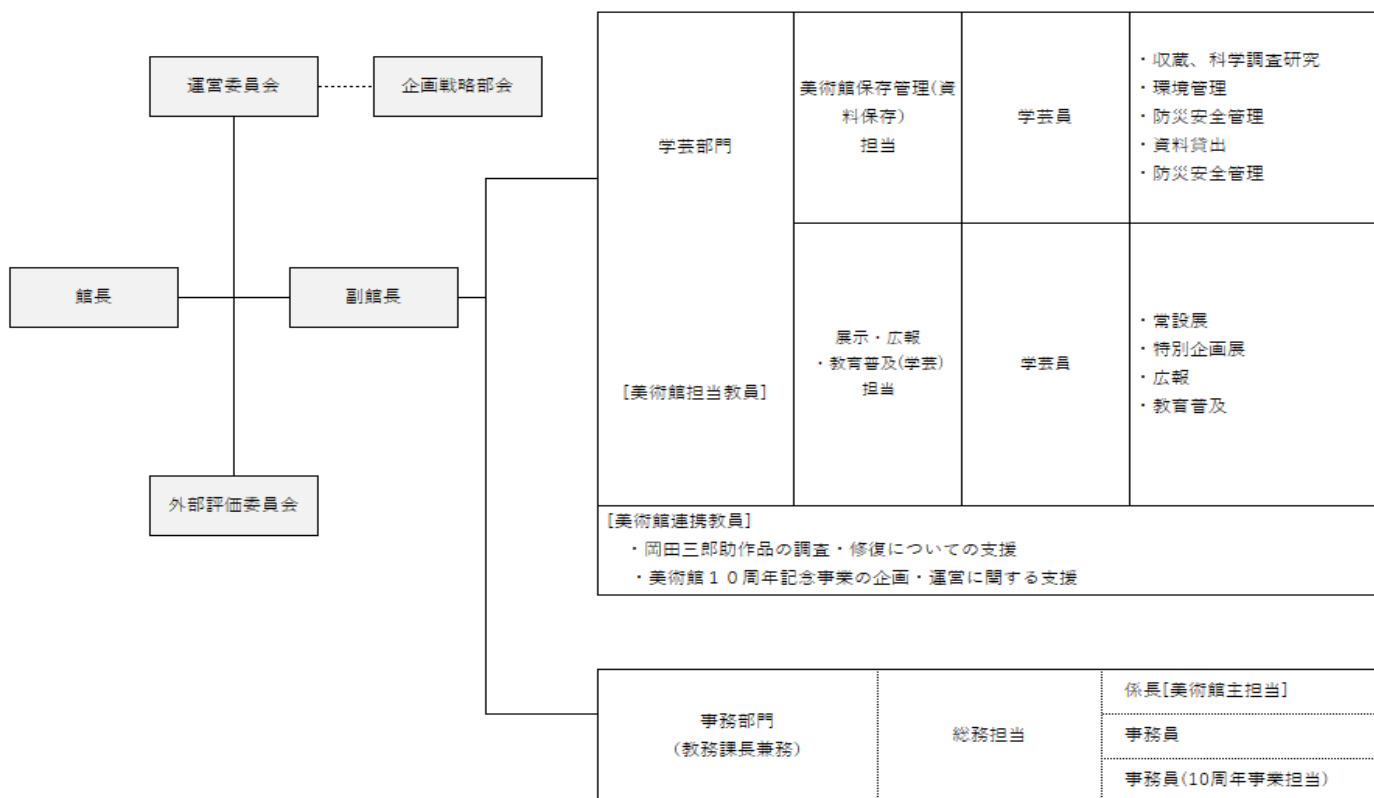
2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

## 〔活動目的〕

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

[組織図]

佐賀大学美術館 組織図



[職員]

館長	渡 孝 則
副館長	徳 安 和 博
係長	松 尾 和 俊
事務員(再雇用)	廣 木 昭 則
事務補佐員(学芸員)	見 藤 素 子
事務補佐員(学芸員)	川 崎 春 樹
事務補佐員	権 山 朋 子

美術館担当教員	藤 井 康 隆
美術館連携教員	石 井 美 恵
美術館連携教員	花 田 伸 一

[企画戦略部会委員]

リーダー	理事	山 崎 英 司
委員	准教授	花 田 伸 一
委員	准教授	藤 井 康 隆
委員	講師	近 藤 恵 介
委員	学務部長	秋 保 聡
委員	係長	松 尾 和 俊
委員	学芸員	見 藤 素 子
委員	学芸員	川 崎 春 樹

[運営委員]

委員長(館長)	理事	渡 孝則
副委員長	理事	山崎英司
副委員長(副館長)	教授	徳安和博
委員	理事	山下宗利
委員	准教授	和田 学
委員	准教授	鳥谷さやか
委員	准教授	谷口みゆき
委員	教授	坂 美奈子
委員	教授	佐藤和也
委員	准教授	吉賀豊司
委員	学務部長	秋保 聡
委員	佐賀大学同窓会長	水田和彦
委員	財務部長	神達 進

## ○ 令和4年度の活動

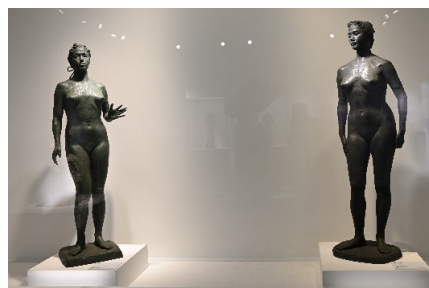
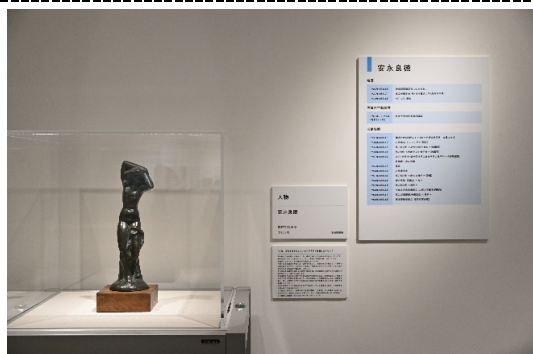
# 1 展示記録(主催展) 令和4年度

佐賀大学美術館

<p>展覧会名</p>	<p>常設展示 第1期</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>平成25年の開館以来、佐賀大学美術館は本学の美術教員はじめ佐賀にゆかりのある作家らの芸術作品を収集し、現在は90点以上の作品を収蔵している。常設展では、恒常的に学生はじめ地域の方々に収蔵作品を一般公開し、佐賀や佐賀大学における美術の様相を紹介する。 第1期は『彫刻作品』を主とし、佐賀大学彫刻教室初代教員の緒方敏雄とその後任であった山本民二、成富宏、非常勤講師として教鞭を取った古賀忠雄、安永良徳の作品を展示した。</p>	
<p>会期</p>	<p>2022年6月28日（火）～10月23日（日）</p>	
<p>開館日数</p>	<p>99日間</p>	
<p>会場</p>	<p>特別展示室</p>	
<p>主催</p>	<p>佐賀大学美術館</p>	
<p>展示構成</p>	<p>彫刻作品8点</p>	
<p>入館者数</p>	<p>1,898人</p>	
<p>広報物</p>	<p>外看板、HP</p>	
<p>配布資料</p>	<p>目録</p>	
<p>展示写真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>	



展示写真



担当者

## 出品リスト

No.	作品名	作家名	素材	制作年	由来・寄贈者名
1	夏折々	緒方敏雄	FRP	1984	山田英智
2	夏・一章	緒方敏雄	FRP	1985	山田英智
3	無題	山本民二	FRP	1979	学内管理替
4	男の顔	古賀忠雄	ブロンズ	ca.1947、1948	学内管理替
5	男の顔	古賀忠雄	石膏	制作年代不明	学内管理替
6	人物	安永良徳	ブロンズ	制作年代不明	学内管理替
7	雷(原型)	成富宏	FRP	制作年代不明	確認中□
8	菊池武光像 雛形星取り石膏原型	緒方敏雄	石膏	1933	佐賀大学 附属図書館

<p>展覧会名</p>	<p>常設展示 第2期</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>2013年の開館以来、佐賀大学美術館は、佐賀大学の美術教員はじめ佐賀にゆかりのある作家達の芸術作品を収集し、現在は90点以上の作品を収蔵している。常設展では、当館のコレクションを恒常的に学生はじめ地域の方々に一般公開し、佐賀や佐賀大学における美術の様相を紹介する。 第2期では「金属工芸」「染色工芸」を主とし、佐賀大学金属工芸教室教員の豊田勝秋とその後任の中牟田佳彰、染色工芸教室教員の城秀男とその後任の小川泰彦、田中嘉生の作品を公開した。</p>	
<p>会期</p>	<p>2022年11月1日(火)～2023年3月26日(日)</p>	
<p>開館日数</p>	<p>115日間</p>	
<p>会場</p>	<p>特別展示室</p>	
<p>主催</p>	<p>佐賀大学美術館</p>	
<p>展示構成</p>	<p>工芸品7点</p>	
<p>入館者数</p>	<p>人</p>	
<p>広報物</p>	<p>外看板、HP</p>	
<p>配布資料</p>	<p>目録</p>	
<p>展示写真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>	

佐賀大学美術館常設展第2期

2022.11.1(火)→2023.3.26(日)



作品名	作家	技法/材質	制作年	サイズ(約)	収蔵館等
陶板(赤目)	豊田勝秋	焼成・青銅	昭和41(1966)年	32.7×24.3	佐賀大学蔵
陶板花器 Ⅰ	中牟田佳彰	焼成・ブロンズ	昭和51(1976)年	30.0×24.0 ×20.0	中牟田君子氏
陶板花器 Ⅱ	中牟田佳彰	焼成・ブロンズ	昭和53(1978)年	7.5×4.2.5 ×3.6.0	中牟田君子氏
陶板花器 Ⅲ	中牟田佳彰	焼成・ブロンズ	昭和60(1985)年	30.0×25.0 ×20.0	中牟田君子氏
板金立片 <sup>※1</sup>	城秀男	染色・布	昭和53(1978)年	14.4×81.0	城君子氏
不埒光の扇 <sup>※2</sup>	小川泰彦	染色・布	昭和53(1978)年	170.0×140.0	小川泰彦氏
黒い子 <sup>※3</sup>	田中嘉生	染色・布	昭和57(1982)年	180.0×180.0	田中嘉生氏

※1 佐賀県立美術館蔵  
※2 佐賀県立美術館蔵  
※3 佐賀県立美術館蔵

佐賀大学美術館



		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		



出品リスト

No.	作品名	作家名	素材	制作年	寄贈者等
1	鑄銅瓶(糸目)	豊田 勝秋	青銅	1966	学内管理替
2	青銅花器(壺)	中牟田 佳彰	ブロンズ	1976	中牟田 澄子氏
3	青銅花器(皿)	中牟田 佳彰	ブロンズ	1985	中牟田 澄子氏
4	青銅花器(壺)	中牟田 佳彰	ブロンズ	1988	中牟田 澄子氏
5	妖異な円	城 秀男	染色	1974	堀 直子氏
6	不知火の有明	小川 泰彦	染色	1978	小川 泰彦氏
7	卯月の頃Ⅱ	田中 嘉生	染色	1982	田中 嘉生氏

<p>展覧会名</p>	<p>今は昔の佐賀大学</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学の前身である佐賀県師範学校、佐賀県女子師範学校、佐賀青年師範学校、旧制佐賀高等学校、そして佐賀大学成立期の写真やパネルを展示し、また定期的に写真を入れ替えて、様々なこの地を集った「昔の学生」の姿をご覧いただいた。</p>	<p>文甲頭を叩いてみたら孔子孟子の音がするー 一理乙頭を叩いてみたら藪(や藪)しゃの音がする</p> <p>魂(たま)な心(こゝろ)や六百(むもも)の 十五(じゅうご)歳(さい)の若(わか)き群(ぐん)</p>  <p>令和4年6月28日(火) ～ 8月10日(木)</p> <p>会 場 : 佐賀大学美術館 2F 小展示室 主 催 : 佐賀大学美術館 協 力 : 佐賀大学同窓会 開館時間 : 10:00～17:00 (入館は16:30まで) ※月曜休館(祝日の場合開館、翌日休館) 観 覧 料 : 無料</p> <p>佐賀大学美術館 SUGAMU</p>
<p>会期</p>	<p>2022年6月28日(火)～2023年3月26日(日)</p>	
<p>開館日数</p>	<p>222日間</p>	
<p>会場</p>	<p>歴史展示スペース</p>	
<p>主催</p>	<p>佐賀大学美術館</p>	
<p>協力</p>	<p>佐賀大学同窓会</p>	
<p>展示構成</p>	<p>パネル6点 古写真24点(定期的に入れ替え)</p>	
<p>入館者数</p>	<p>人</p>	
<p>広報物</p>	<p>美術館HP、佐賀大学同窓会会報</p>	
<p>配布資料</p>	<p>なし</p>	
<p>展示写真</p>		

展示写真



担当者

川崎

出品リスト

番号	展示資料	数量	所蔵先	サイズ
1	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 教官集合写真/20-1-18	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
2	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 十五畷橋/20-1-21	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
3	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 十五畷橋/20-1-22	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
4	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち/20-1-23	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
5	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち/20-1-24	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
6	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 授業風景/20-1-30	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
7	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たち/20-1-36	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
8	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 佐高正門/20-1-37	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
9	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 学生たちとフレンチェル先生の娘さんたち/20-1-44	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
10	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 航空写真/20-1-75	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
11	臼杵市教育委員会 旧制佐賀高校関連写真 航空写真/20-6	1	臼杵市教育委員会 (旧藩主稲葉家関係史料)	66 X 88
12-35	古写真	24	佐賀大学菱の実会館資料	A4

<p>展覧会名</p>	<p>展示ができるまで</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>収藏品ではなく美術館の「空間」「設備」「備品」「役割」を展示し、施設の特徴や展示ができるまでなど知られざる美術館の裏側を紹介、多くの人々にとって謎とふしぎの世界である美術館に理解・関心と親しみをもってもらい、同時に「美術館、ミュージアムとは何か」「新しい美術館のかたち」を地域社会とともに模索する機会とした。</p>	
<p>会期</p>	<p>2022年8月2日（火）～11月30日（水）</p>	
<p>開館日数</p>	<p>101日間</p>	
<p>会場</p>	<p>小展示室</p>	
<p>主催</p>	<p>佐賀大学美術館</p>	
<p>展示構成</p>	<p>点</p>	
<p>入館者数</p>	<p>1,873人</p>	
<p>広報物</p>	<p>HP</p>	
<p>配布資料</p>	<p>チラシ</p>	
<p>展示写真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>	
<p>担当者</p>	<p>見藤</p>	





<p>展覧会名</p>	<p>もっと！展示ができるまで</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>連携企画にあわせ、期間限定で2F展示「展示ができるまで」の一部を1Fギャラリー1に移設・展示替え、空間を利用したの公開講座や参加型展示を行った。</p>	
<p>会期</p>	<p>2022年8月2日（火）～9月11日（日）</p>	
<p>開館日数</p>	<p>11日間</p>	
<p>会場</p>	<p>1F ギャラリー</p>	
<p>主催</p>	<p>佐賀大学美術館</p>	
<p>展示構成</p>	<p>点</p>	
<p>入館者数</p>	<p>404人</p>	
<p>広報物</p>	<p>HP</p>	
<p>配布資料</p>	<p>チラシ</p>	
<p>展示写真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>	
<p>担当者</p>	<p>見藤</p>	



<p>展覧会名</p>	<p>寒糊吹き</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>古くから日本においては大寒に古糊を炊く習慣が存在する。古糊とは小麦のでんぷんと精製水を炊きあげて作った糊を甕に移して10年以上暗所に保管し、微生物の働きで熟成させたものであり、主に掛け軸などの裏打ち紙を張り合わせる際に使われる。この古糊づくりは、毎年雑菌の少ない寒い時期に作られるので「寒糊吹き」と呼ばれる。日本における文化財・作品継承の知恵が各地に残されていることを体験してもらおうと同時に、学部</p>	
<p>会期</p>	<p>2022年1月24日(火) 9:00-13:00</p>	
<p>開館日数</p>	<p>1日間</p>	
<p>会場</p>	<p>芸術地域デザイン学部 4階</p>	
<p>主催・協力・後援</p>	<p>芸術地域デザイン学部</p>	
<p>資料提供・協力</p>	<p>藤井研究室</p>	
<p>展示構成</p>	<p>糊吹き体験(生麩糊、甕、記名用筆、油煙墨、和紙)</p>	
<p>入館者数</p>	<p>35</p>	
<p>広報物</p>	<p>チラシ、ポスターなど</p>	
<p>配布資料</p>	<p>他館の糊吹きの記事など</p>	
<p>関連事業</p>		
<p>内容</p>		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>	<p>見藤</p>	

## 2 展示記録(企画申請) 令和4年度

佐賀大学美術館



展覧会名	鳥栖未来計画成果展	
展覧会概要	学生団体「Make-Sense」による展示。学生が提案した鳥栖市の再開発事業に関する提言を学生や市民に向けて発信する展示が行われた。	
《会期》	2022年4月9日(土)～4月22日(金)	
《日数》	12日間	
《会場》	小展示室・歴史展示スペース	
《主催》	学生団体 Make-Sense	
《後援》		
展示写真		
担当者		





<p>展覧会名</p>	<p>令和4年度 芸術地域デザイン学部 共通基礎成果発表会</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部の1年生が「芸術表現基礎」「地域デザイン基礎」の授業で取り組んだ作品や活動の成果が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年8月4日(木)～8月10日(水)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>6日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>	<p></p>	

<p>展覧会名</p>	<p>45周年記念 二紀佐賀支部展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>毎年国立新美術館（東京都）で開催される「二紀展」の佐賀支部による支部展。100号から200号の作品が展示された。会期中に佐賀支部による作品批評会が行われた。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年8月24日(水)～8月28日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>5日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ</p>	
<p>《主催》</p>	<p>二紀佐賀支部</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>序展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部小木曾誠准教授と西洋画専攻の学生による作品展。企画から制作、設営、告知など、学生が主体となって展覧会を開催した。来場者の似顔絵を描くイベントやライブクローキーが行われた。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2021年9月18日(日)～9月25日(土)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>7日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画専攻</p>	
<p>《後援》</p>		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>うるし展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部の漆・木工専攻生による成果発表展。漆を巧みに用いた造形豊かな作品が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年10月26日(水)～11月3日(木)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>8日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学 芸術地域デザイン学部 漆・木工専攻</p>	
<p>《後援》</p>		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>令和4年度 JA共済 小・中学生 第58回書道・第48回交通安全ポスターコンクール</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>JA共済が文化支援事業として毎年実施している全国規模のコンクールの入賞作品展。応募された小・中学生の書作および交通安全ポスターの中から、県内で入賞を果たした作品324点が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年10月26日(水)～11月3日(木)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>8日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀県内JA、JA共済連佐賀</p>	
<p>《後援》</p>	<p>文部科学省、佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、佐賀県農業協同組合中央会、NHK佐賀放送局、サガテレビ、エフエム佐賀、佐賀新聞社、日本農業新聞</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>萌展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部の染色専攻生による展覧会。布をメインに、型染めやろうけつ染めといった技法を巧みに用いた色彩豊かな作品が並んだ。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年11月10日(水)～11月17日(木)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>8日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部 染色専攻</p>	
<p>《後援》</p>		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		



<p>展覧会名</p>	<p>第63回 佐賀県学童美術展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀県内の園児および小・中学生が授業で制作した絵画、デザイン、線描600点が展示された。小・中学生の学校、各地区、最後に本部の審査で特選を受賞した作品が並んだ。多くの家族連れで賑わい、2,034人の来場者を迎える展覧会となった。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年11月23日(水)～11月27日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>5日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀県造形教育研究会</p>	
<p>《後援》</p>	<p>佐賀県教育委員会</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

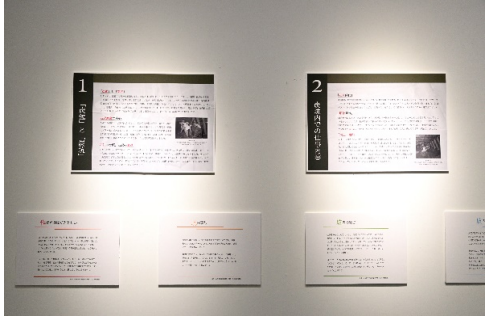
<p>展覧会名</p>	<p>結成40周年記念 佐賀県染織作家協会展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀県染織作家協会に所属する会員による展覧会。会員の直近10年の作品を展示するとともに、元会長であり、元佐賀大学教授である故・小川泰彦氏の遺作が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年12月3日(日)～12月11日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>9日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀県染織作家協会</p>	
<p>《後援》</p>		
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		





<p>展覧会名</p>	<p>璞友会展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>今年で13回目を迎えた「璞友会」の書道の作品展。佐賀県内で書を学んでいる指導者と生徒が日頃の研鑽の成果を発表した。2022年度は、書作の他に立体的な作品も発表され、合計21点展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年12月16日(金)～12月21日(水)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>5日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー 2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>璞友会</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>第7回 児童生徒作品展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学教育学部附属特別支援学校が、児童生徒の授業作品や学習の様子を紹介し、広く活動を周知してもらうとともに、展示・鑑賞を通じて児童生徒の情操の学習に取り組むため毎年催している展覧会。 特別支援学校で学ぶ児童生徒による図工・美術作品、作業製品、学習活動で制作した作品や教材が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年12月22日(木)～12月24日(土)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>3日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学教育学部附属特別支援学校</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		



<p>展覧会名</p>	<p>遊覧飛行 第Ⅱ期鳥栖未来計画成果展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>4月に開かれた鳥栖未来計画成果展に続く展覧会。学生達による2年に及ぶ研究の成果と、そこから構成された未来の鳥栖市のかたちが紹介された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年1月7日(土)～1月22日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>16日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、カフェスペース</p>	
<p>《主催》</p>	<p>学生団体Make-Sense</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>コア科目「北部九州の人々の文化・歴史・暮らし・芸術」成果発表展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部の3年生によるコア科目の成果発表展。福岡を拠点に活躍した「九州派」と炭鉱の関係についての1年間の研究の成果が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年1月24日(火)～1月26日(木)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>2日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>小展示室、カフェスペース</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学 芸術地域デザイン学部</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>	<p></p>	

<p>展覧会名</p>	<p>佐賀県高等学校書道教師書作展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀県内の高校で書道を担当する教員が授業研究会の他に、年に一度の書作発表の場として開催している展覧会。教員32名、52点の書、掛軸、篆刻などが展示された。高校生徒臨書展の優秀作品も合わせて展示し、様々な年代の来館者を迎えることができた。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年1月26日(木)～1月29日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>4日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀県高等学校教育研究会書道部会</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

<p>展覧会名</p>	<p>小さな芸術家たちのアート展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>「おへそこども学園」の子供達による展示。素材を通して、子供たちの目線で制作された様々な作品が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年2月3日(金)～2月4日(土)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>2日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー 1、中庭</p>	
<p>《主催》</p>	<p>おへそこども学園</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		




<p>展覧会名</p>	<p>全国重要無形文化財秀作展展示提案展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学芸術地域デザイン学部3年生によるコア科目の成果発表展。全国重要無形文化財秀作展の展示について、1年間の学びと研究による成果が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年2月4日(土)～2月5日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>2日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー2、スタジオ</p>	
<p>《主催》</p>	<p>芸術地域デザイン学部</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		



<p>展覧会名</p>	<p>2022年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部卒業制作・終了制作作品展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>芸術地域デザイン学部、大学院地域デザイン研究科の学部生・大学院生による卒業・修了制作展。西洋画、日本画、視覚伝達デザイン、彫塑、有田セラミック、漆・木工、ミクストメディア、美術史・美術理論、地域コンテンツデザイン、フィールドデザイン、キュレーション分野を学ぶ学生たちが、学生生活の集大成となる作品が展示された。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2023年2月11日(土)～2月19日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>8日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、中庭、小展示室、カフェスペース</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学 芸術地域デザイン学部</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		





<p>展覧会名</p>	<p>佐賀大学 学生書作展</p>	
<p>展覧会概要</p>	<p>佐賀大学教育学部芸術地域デザイン学部書道同好会による卒業書作展。佐賀県書作家協会展、佐賀県書道展、県展などに積極的に取り組んできた学生の集大成となる書作と指導教官1名の賛助作品、合わせて15点を展示した。</p>	
<p>《会期》</p>	<p>2022年3月2日(木)～3月5日(日)</p>	
<p>《日数》</p>	<p>4日間</p>	
<p>《会場》</p>	<p>ギャラリー1、2</p>	
<p>《主催》</p>	<p>佐賀大学書道同好会</p>	
<p>展示写真</p>		
<p>担当者</p>		

### 3 実習

概要	
佐賀大学教育学部附属中学校2年生の職業体験を受け入れた。参加者は当館の収蔵庫を含む館内や、企画展の搬入の様子などを見学した。佐賀大学美術館の成り立ちや美術館業務について説明したり、開館・閉館作業や受付業務に携わったりした。	
実習名	中学校職場体験学習
内容	中学校職場体験学習の一環で、学芸員の指導のもと、附属中学校学生の体験学習の受け入れをおこなった。2年生2名が参加し、受付や監視業務ほか、常設展、企画展「展示ができるまで」における解説文作成の体験や、収蔵庫内での資料整理・調査の体験をおこなった。
期間	2022年9月29日(木)～9月30日(金)、9：00～16：00
参加者	2名
写真	

概要	
2016年より当館での博物館実習の学内生の受け入れが始まった。2022年度は学芸員資格取得希望者に対し、展示監視および、収蔵庫見学、展示照明、作品クリーニングの実習を館内で行った。	
実習名	展示・ライティング実習（地デザ講義）
内容	3年次コア科目の一環で芸術地域デザイン学部石井美恵先生の指導のもと、「重要無形文化財保持団体」秀作展の展示方法を考える実習が行われた。当館小展示室にて学部3年生がグループにわかれ平面作品と立体作品の性質に留意しながら照明を当て、展覧会における照明の方法について理解を深めた。
期間	2022年6月17日(金)
参加者	
写真	 

実習名	展示・ライティング実習（地デザ講義）	
内容	3年次コア科目の一環で芸術地域デザイン学部石井美恵先生の指導のもと、「重要無形文化財保持団体」秀作展の展示方法を考える実習が行われた。当館小展示室にて学部3年生がグループにわかれ平面作品と立体作品の性質に留意しながら照明を当て、展覧会における照明の方法について理解を深めた。	
期間	2023年1月17日(火)～1月18日(水)	
参加者		
写真		

## 4 刊行・掲載・見学・職員研修

〔刊行物〕

『佐賀大学美術館 令和3年度年報』

〔概要〕年報：館概要/沿革/組織図/2020年度の活動

〔仕様〕AB版 34ページ 4色刷

〔発行部数〕500部

〔発行日〕2022年7月31日



## [掲載紙・テレビ]令和4年度

展覧会名	記事名、番組名	日付・放送日	新聞社・テレビ局・ラジオ局
鳥栖未来計画成果展	鳥栖の未来、提案の展示	4月17日	佐賀新聞
今は昔の佐賀大学	FNN SAGATV Live News Days	7月29日	サガテレビ
展示ができるまで	佐賀大美術館の裏側拝見 企画展「展示ができるまで」9月25日まで 作品修復など紹介、学芸員体験コーナーも	8月22日	佐賀新聞
もっと！展示ができるまで	美術館の裏側探る 佐賀大美術館「展示ができるまで」展	9月6日	佐賀新聞
序展	カチカチプレス	9月8日	サガテレビ
序展	まちの話題	9月21日	佐賀新聞
うるし展	RADIOKING。	9月24日	NBCラジオ佐賀
うるし展	富永ボンドのラジオ ボンドバ	9月30日	NBCラジオ佐賀
うるし展	豊かな発想、独創性光る 佐賀大学美術館で「うるし展」 漆・木工専攻の学生出品	10月6日	佐賀新聞
うるし展	富永ボンドのラジオ ボンドバ	10月7日	NBCラジオ佐賀
萌展	技術多彩に、個性的な染色の作品 佐賀大学美術館で「萌展」	11月10日	佐賀新聞
今は昔の佐賀大学	旧制佐賀高“青春のストーム”写真で振り返る 佐賀大美術館	11月15日	西日本新聞
結成40周年記念 佐賀県染織作家協会展	ニュース おかえり佐賀	12月2日	NHK
結成40周年記念 佐賀県染織作家協会展	イベント紹介	12月2日	ぶんぶんテレビ
結成40周年記念 佐賀県染織作家協会展			読売新聞
結成40周年記念 佐賀県染織作家協会展	着物、焼き物など多彩に 佐賀県染織作家協会展 12月11日まで、佐賀大美術館（佐賀市） 結成40周年を記念	12月8日	佐賀新聞
第7回 児童生徒作品展	みんなの情報面 きょうの催し	12月22日	佐賀新聞
遊覧飛行 第Ⅱ期鳥栖未来計画成果展	鳥栖の未来、佐大生が提案 市街地を模型などで紹介	1月20日	佐賀新聞
寒糊炊き	佐賀大で伝統の「大寒糊炊き」 修復の必需品、学生手作り	1月31日	佐賀新聞

## [見学団体一覧]令和4年度

社：社会人 シ：シニア 学：大学・短大・専門学校生 高：高校生 中：中学生 小：小学生 未：未就学児

※学校名・組織名は極力、正式名称を記録すること（例：「○○高校」→「△△県立○○高等学校」）

展覧会名	団体名	日付	時間	人数		引率	備考
							※視察の場合は「視察」と入力
	佐賀大学芸術地域デザイン学部	4月22日	13:00	学	113	5	
	私立筑紫台高等学校	7月7日	12:00	高	52	2	
	私立筑紫台高等学校	7月7日	14:18	高	38	2	
	福岡県立筑紫中央高等学校	7月13日	11:15	社	51	3	
	65家庭会	7月16日	16:30	社	7	0	
	学校法人 佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	8月23日	11:00	高	19	2	
	佐賀市立城東中学校 ゆめたねプロジェクト	8月25日	11:25	中	6	1	
	佐賀市立城東中学校 ゆめたねプロジェクト	8月25日	11:38	中	11	1	
	佐賀市立城東中学校 ゆめたねプロジェクト	8月25日	11:52	中	15	1	
	佐賀県立武雄青陵中学校	9月15日	11:15	中	40	3	
	福岡県立新宮高等学校	9月29日	11:40	社	36	2	
	佐賀大学附属図書館 職業体験	9月30日	13:30	中	2	4	
	熊本県立宇土高等学校	10月4日	15:30	社	12	2	
	福岡県立春日高等学校	10月6日	11:40	社	51	3	
	福岡県立香椎高等学校	10月7日	12:10	社	22	1	
	佐賀県立致遠館高等学校	10月7日	15:50	社	20	2	
	福岡県立北筑高等学校	10月18日	11:45	高	37	3	
	佐賀県立唐津東中学校	10月26日	15:00	中	40	2	
	佐賀大学教育学部 国語科 書写	10月28日	13:00	学	23	0	
	佐賀県立唐津東中学校	11月16日	14:50	中	38	2	
	学校法人 佐賀龍谷学園 龍谷中学校	11月24日	15:00	中	41	2	
	佐賀大学附属小学校	11月25日	10:10	小	98	3	
	佐賀大学芸術地域デザイン学部3年次コア科目 秀作展チーム	12月9日	13:40	学	7	1	
	私立佐賀清和高校	1月26日	13:50	高	23	1	
	佐賀県立佐賀西高等学校	1月27日	10:30	高	19	1	
	私立佐賀清和高校	1月27日	11:25	高	18	1	
	佐賀県立佐賀西高等学校	1月27日	13:15	高	22	1	
	国立大学法人 九州大学	2月10日	14:50	社	2	2	視察
	私立佐賀清和高校	2月14日	10:15	高	38	2	
	私立佐賀清和高校	2月16日	13:50	高	48	1	
	私立佐賀清和高校	2月17日	11:20	高	35	1	



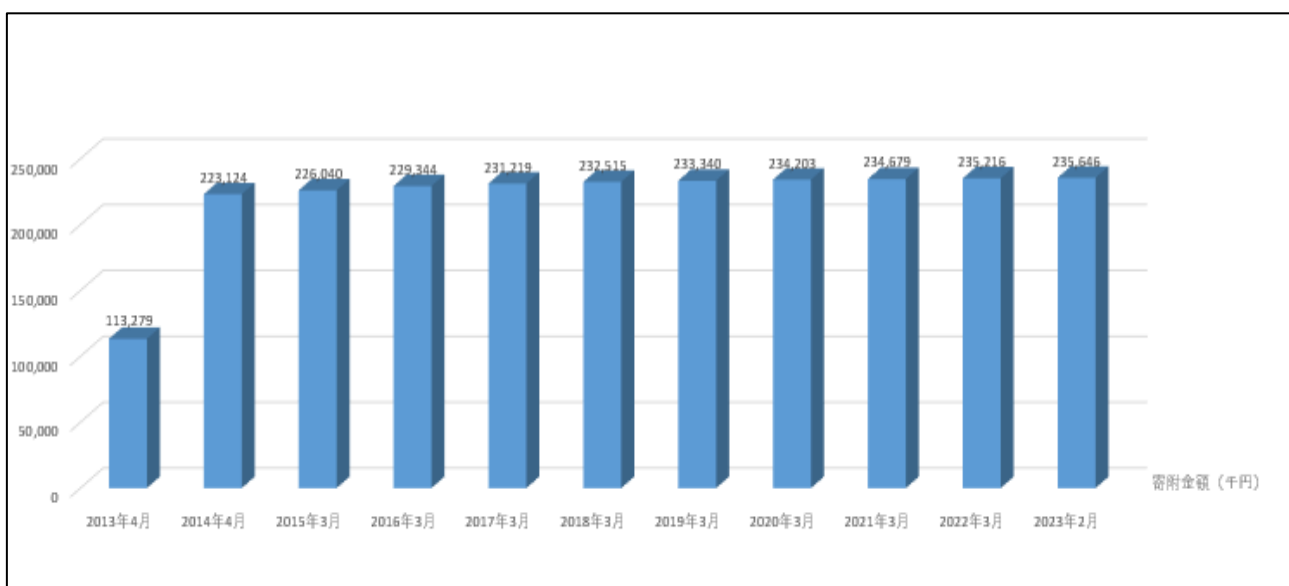
## 職員研修

名称	日時	会場	主催	共催	出席
国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会	令和4年6月15日（水）	オンライン	文化庁文化財第一課		見藤
公開承認施設担当者会	令和4年6月16日（木）	オンライン	文化庁文化財第一課		見藤
学芸員研修：ユニバーサルミュージアム	令和4年7月25日（月）	九州国立博物館	「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館）		見藤
学芸員研修：やさしい日本語	令和4年9月5日（月）	佐賀県立美術館	「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館）		見藤
令和4年度IPMセミナー	令和4年11月15日（火）	九州国立博物館	文化庁	東京文化財研究所	見藤
令和4年度第26回 国宝修理装演師連盟定期研修会	令和4年11月18日（火）	奈良県文化会館 1階国	一般社団法人 国宝修理装演師連盟	独立行政法人 国立文化財機構、京都府教育委員会、滋賀県、奈良県、福岡県教育委員会、一般社団法人 文化財保存修復学会、全国文化財保存技術連合会	見藤
令和4年度文化財（美術工芸品）保存修理講習会	令和4年12月8日（木）	オンライン	文化庁文化財第一課		見藤
PBLレビュー（伊藤PBL認定登録外部評価者）	令和4年11月9日（土）	オンライン	東京都立産業技術大学院大学 伊藤研究室		見藤

## 5 寄附

[美術館設置募金の経緯]

2011年6月	美術館設置募金WG設置
2012年4月	美術館設置事業募金開始
2013年6月	寄附者芳名帳を公開
	美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金WGを解散
9月	美術館に高額寄附者銘板を設置
10月	美術館開館後も美術館設置事業募金を継続
2023年3月	募金総額 235,645,756 円 (2023年2月28日現在)



6 令和4年度展覧会 入館者一覧

※数値に重複あり

展覧会	入場者数	会期	日数	主催	展示会場
1 鳥栖未来計画成果展	810	4/9 ～ 4/22	12	学生団体 Make-Sense	小展示室、歴史展示室
2 常設展第1期	1,898	6/28 ～ 10/23	99	佐賀大学美術館	特別展示室
3 今は昔の佐賀大学	3,877	6/28 ～ 3/26	221	佐賀大学美術館	歴史展示室
4 展示ができるまで	1,885	8/2 ～ 11/30	101	佐賀大学美術館	小展示室
5 令和4年度 共通基礎成果発表展	1,193	8/4 ～ 8/10	6	芸術地域デザイン学部	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ
6 45周年記念 二紀佐賀支部展	635	8/24 ～ 8/28	5	二紀佐賀支部	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ
7 もっと！展示ができるまで	404	8/31 ～ 9/11	11	佐賀大学美術館	ギャラリー1
8 序展	451	9/17 ～ 9/25	8	芸術地域デザイン学部西洋画専攻	ギャラリー1・2、スタジオ
9 うるし展	874	10/4 ～ 10/16	12	芸術地域デザイン学部漆・木工専攻	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ
10 令和4年JA共済 小・中学生第58回書道・第48回交通安全ポスターコンクール入賞作品展示会	1,273	10/26 ～ 11/3	8	全国共済農業協同組合連合会 佐賀県本部(JA共済連 佐賀)	ギャラリー1・2
11 常設展第2期	1,979	11/1 ～ 3/26	115	佐賀大学美術館	特別展示室
12 萌展	555	11/10 ～ 11/17	7	芸術地域デザイン学部染色専攻	ギャラリー1・2
13 第63回佐賀県学童美術展	2,034	11/23 ～ 11/27	5	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ
14 佐賀県染織作家協会 結成40周年記念展	908	12/4 ～ 12/11	7	佐賀県染織作家協会	ギャラリー1・2
15 環友会作品展	272	12/16 ～ 12/21	5	環友会	ギャラリー2
16 第7回児童生徒作品展	135	12/22 ～ 12/24	3	附属特別支援学校	ギャラリー1
17 遊覧飛行 第II期鳥栖未来計画成果展	715	1/7 ～ 1/22	11	学生団体 Make-Sense	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ、カフェスペース
18 コア科目「北部九州の人々の文化・歴史・暮らし・芸術」成果発表展	15	1/24 ～ 1/26	2	佐賀大学 芸術地域デザイン学部	小展示室
19 佐賀県高等学校書道教師作品展	717	1/26 ～ 1/29	4	佐賀県高等学校教育研究会 書道部会	ギャラリー-1、ギャラリー-2、スタジオ
20 小さな芸術家たちのアート展	345	2/3 ～ 2/4	2	おへそ子ども学園	スタジオ
21 全国重要無形文化財秀作展展示提案展	233	2/4 ～ 2/5	2	芸術地域デザイン学部	ギャラリー-2、スタジオ
22 2022年度 佐賀大学芸術地域デザイン学部 卒業・修了作品展	1,672	2/11 ～ 2/19	8	芸術地域デザイン学部	ギャラリー1・2、スタジオ、小展示室、中庭、プロムナード、カフェスペース
23 佐賀大学学生書作品展		3/2 ～ 3/5	4	佐賀大学書道同好会	ギャラリー1
24 チラシ・ポスターで紐解く佐賀大学美術館10年史		3月18日	1	佐賀大学美術館	ギャラリー1
25 写真で見る佐賀大学		3月18日	1	佐賀大学美術館	ギャラリー2
26 展示ができるまでVol.2		3月18日	1	佐賀大学美術館	ギャラリー3

令和4年4月1日～令和5年3月31日

年度別入場者実績

※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
平成25年度	27,167	0	125
平成26年度	40,780	2,652	254
平成27年度	37,965	0	281
平成28年度	38,474	0	291
平成29年度	34,718	0	285
平成30年度	31,883	0	273
平成31年度	30,698	0	280
令和2年度	13,929	0	140
令和3年度	17,459	0	271
令和4年度	14,692	0	234

## II 自己点検・評価

### 令和4年度までの美術館運営の特徴について

当美術館は平成25年度10月に新制佐賀大学(旧佐賀大学と佐賀医科大学統合による)10周年を記念して開館した。国内で初の国立総合大学に附属する美術館であり、様々な展示事業を通じて大学の情報や教育・研究の成果を発信するとともに、地域のコミュニティセンターとして市民の方からも気軽に大学に足を運んでもらうきっかけとなることを目指している。

この目的のために大学内の施設ながら常時一般公開し、また、市民団体にも活動の場を提供しながら年間を通して開館している。オープンから令和3年度末までの9年半に213本の事業が行われ、約28万8千人の入館者があった。来館者の層は学生や教職員など大学関係者にとどまらず、市民の一般観覧、近隣小中高校からの団体見学など幅広い。所在地の人口に対する入館者の割合で見ると他の大学博物館・美術館では高いところでも3%台(平成27年度本学アンケート調査)だが、当館は平均して約13%と利用率が非常に高くなっている。この数値は「開かれた大学」を象徴する施設としての存在意義を示すと同時に、芸術活動が日常にとけ込んでいる佐賀の文化風土に由来する当館の大きな特長である。

このような市民を含めた利用率の高さや、「特美」に由来する美術・工芸教育の伝統と質、芸術と他領域を結びつける総合大学ならではの学際的な試み、佐賀の文化・芸術の紹介等を、卒業生を含む周囲の関係者との緊密な協力関係のもとに実施できることは当館の強みとなっている。

なお、令和4年度も新型コロナウイルスによる影響は小さいとは言えず、全体として美術館・博物館の閉館、あるいは展覧会の中止や延期はなくなりつつあるものの、大幅に減少した来館者は昨年を引き続いて戻りきれていないのが現状である。当館においても、新型コロナ前は例年3万人を超えてきた来館者数は、3年連続で2万人を下回っている。また、当館はその他にも運営上の課題等を抱えており、そのような現況下も踏まえながら、開館10年目を迎えた令和4年度の主な活動について報告し、項を改めて今後の課題について検討したい。

#### 1. 令和4年度の活動の概略

令和4年度は、佐賀大学美術館が開館してから9周年を迎えた年であった。主催展として、常設展第1期では佐賀大学彫刻教室ゆかりの教員の作品を、第2期では「金属工芸」「染色工芸」を主とした作品を紹介した。

常設展は、年度当初からほぼ1年を通して開催し、会期中は3,877人(令和5年2月末時点)の方々に観覧いただいた。

また、企画展として美術館における展覧会制作の舞台裏を紹介する「展示ができるまで」、「もっと!展示ができるまで」を、さらに2階歴史展示スペースにおいて過去の写真で佐賀大学の面影を振り返る「今は昔の佐賀大学」を開催、加えて佐賀県と連携した「TSUNAGIプロジェクト」の開催日に合わせ、同一日のみではあるが「チラシ・ポスターで紐解く佐賀大学美術館10年史」、「写真で見る佐賀大学」、「展示ができるまでVol.2」の3つの展覧会を開催した。

令和4年度の入館者数は、14,692人(令和5年2月末時点)となり昨年の入館者数に及

ばなかったが、衰えることがなかった新型コロナウイルスによる影響に加え、収蔵庫整理のため約2カ月(4/23~6/26)閉館したことなどが要因として考えられる。

企画申請事業を主催する学内外の団体に対しての使用料は、令和4年度は7件、412千円となった。昨年度と比して収入額は52千円ほど減少、光熱水料相当額の振替額は65千円であった。その結果、収入総額は477千円となり前年度の599千円から122千円の減少となっており、企画申請事業に伴う収入面では新型コロナウイルスの影響が依然小さくないことが伺える。

#### (1) 美術館主催事業

大学の所蔵品を広く一般の方へ公開するため、前年度の収蔵品を軸とした常設展を開催した。

- ① 「常設展 第1期」では、『彫刻作品』を主とし佐賀大学彫刻教室初代教員の緒方敏雄とその後任であった山本民二、成富宏、非常勤講師として教鞭を取った古賀忠雄、安永良徳の作品を展示した。
- ② 「常設展 第2期」では、「金属工芸」「染色工芸」を主とし、佐賀大学金属工芸教室教員の豊田勝秋とその後任の中牟田佳彰、染色工芸教室教員の城秀男とその後任の小川泰彦、田中嘉生の作品を公開した。
- ③ 「展示ができるまで」では、収蔵品ではなく美術館の「空間」「設備」「備品」「役割」を展示し、施設の特徴や展示ができるまでなど知られざる美術館の裏側を紹介した。
- ④ 「もっと!展示ができるまで」では、連携企画(「ミュージアム・オープンラボ)にあわせ、期間限定で2F展示「展示ができるまで」の一部を1Fギャラリー1に移設・展示替え、空間を利用した公開講座や参加型展示を行った。
- ⑤ 「今は昔の佐賀大学」では、大分県臼杵市教育委員会及び佐賀大学同窓会にて保存されていた昭和時代の佐賀大学に関する写真資料をパネル展示した。
- ⑥ 「チラシ・ポスターで紐解く佐賀大学美術館10年史」では、佐賀大学美術館で開催された主催展のチラシ・ポスター、図録等の資料をとおして美術館の10年史を紐解いていった。
- ⑦ 「写真で見る佐賀大学」では、展示中の「今は昔の佐賀大学」資料に加え、佐賀大学地域学歴史文化研究センター所蔵の絵画や写真パネル、佐賀大学同窓会所蔵の写真資料を紹介した。
- ⑧ 「展示ができるまで Vol.2」では、前回の同名展覧会に新たな展示資料を追加した拡大版として実施した。

#### (2) 企画申請事業

- ① 令和4年度における学部・学生による作品の展示としては、芸術地域デザイン学部主催による「芸術地域デザイン学部基礎成果発表会」、同学部西洋画専攻による「序展」、同学部漆・木工専攻による「うるし展」、同学部染色専攻による「萌展」、その他「重要無形文化財保持団体展提案展」、同学部及び地域デザイン研究科による「佐賀大学芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科デザインコース 卒業・修了制作展」の他学生団体 Make-Sense による「遊覧飛行 第II期鳥栖未来計画成果展」などが開催された。
- ② 主な学外者の事業としては、二紀佐賀支部による「45周年記念 二紀佐賀支部展」、J A主催の「小・中学生ポスター・書道コンクール展」、佐賀県造形教育研究会に

よる「佐賀県学童美術展」、佐賀県染色作家協会による「佐賀県作家協会 結成 40 周年記念展」、佐賀県高等学校教育研究会書道部門による「佐賀県高校書道教師作品展」などの他、おへそ子ども学園による「小さな芸術家たちのアート展」など地域の文化活動の発表の場所としての役割を担うことができた。

(3) 刊行物の発行

令和 4 年度は、令和 3 年度の事業活動をまとめた「佐賀大学美術館令和 3 年度年報+紀要」を発行した。

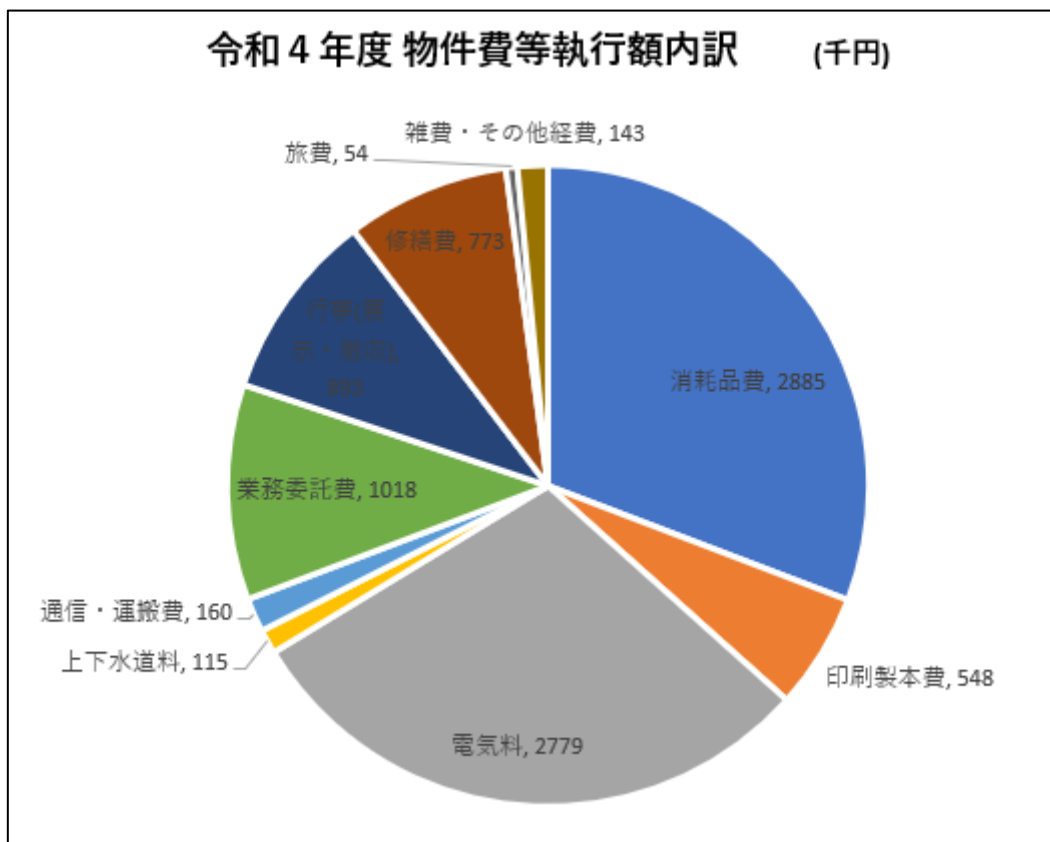
(4) 掲載紙・テレビ取材等

当館で開催される事業の広報については、当館ホームページ、メール、記者会見などで逐次情報を提供することで費用のかからない広報宣伝と事業の報告に努めている。令和 4 年度にメディアでの掲載・放映は、新聞等 12 件、テレビ・ラジオ 7 件が取り上げられた。

また見学団体・視察等は、県内高等学校を中心にのべ 31 団体、1,041 人の来館者を迎えた。

(5) 運営費の執行状況 [データ:令和 5 年 3 月 1 日現在(予定含)]

令和 4 年度に美術館運営のために執行した経費の額は、非常勤職員（学生等アルバイト等を含む。）人件費等 7,117 千円、物件費等 9,483 千円（内訳は以下のとおり）、計 16,600 千円であった。



2. 今後の課題等

大学美術館としての理念に基づく展示企画，作品収集・保存の状況，館運営などの



バランスの中で年間スケジュールを構成してきた。開館から9年が過ぎ、大学及び学生、そして地域社会に資するような活動についても実績を積んできた。一方で、今後も継続的に美術館を運営するためには、常に課題の所在を念頭に置きつつ多方面と問題を共有し、助言・協力を仰ぎつつ、実現できるところから順次取り組みを進めていく必要がある。

(1) 美術館の運営費等

開館以来、美術館の運営費の継続的な確保は最大の課題となっている。寄附募集は継続しているが、寄附件数・金額とも減少傾向にあり、大幅な改善は見込めず、法人からの予算措置により運営している。

このような状況の下、安定した運営費の確保に資するため、平成26年度以降、施設使用者に対して光熱水費の実費を、さらに平成27年度からは学外者については展示室使用料を徴収している。令和4年度におけるこれらの収入は477千円であるが、令和2年度の年間約442千円、令和3年度の年間約599千円と比しても大幅な変動はなく、新型コロナが及ぼした社会的、経済的なマイナスの要因は以前残っているものの、経年的視点では安定した収入となっていることも事実である。(表1)

また、平成28年度以降主催展事業費確保のため、独立行政法人日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金助成金の地域文化施設公演・展示活動(美術館等展示)に要望書を提出し助成金を獲得するよう努めている。(表2)

なお、令和2年度、3年度は後述の課題ともなっている学芸員不在の状況により規模の大きい主催展を開催することが困難であったため、当該年度の助成金申請は見送っている。(令和4年度は申請済)

(表1) 美術館貸付料収入等の推移(平成26年度～令和4年度)

単位：円

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31・令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
現金等収入			13	349,252	10	401,800	9	564,000	12	634,000	7	799,000	3	357,000	6	462,500	7	408,000
学内予算振替	8	515,601	8	137,385	10	256,999	10	172,119	13	206,171	8	137,963	7	85,312	8	136,737	5	64,892
計	8	515,601	21	486,637	20	658,799	19	736,119	25	840,171	15	936,963	10	442,312	14	599,237	12	476,892
前年度差引増減(△)額		-		△28,964		172,162		77,320		104,052		96,792		△494,651		156,925		△122,345

(表2) 助成金収入等の推移(平成28年度～令和4年度)

単位：円

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31・令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
芸術文化振興基金助成金	1	1,353,000	1	1,130,000	1	858,000	1	720,000	1	1,014,000	-	-	-	-

(2) 学芸員の処遇改善と安定的確保

令和3年度中はほぼ不在であった学芸員であったが、令和4年度は2名(うちフルタイム非常勤1名、パートタイム非常勤1名)を採用し事務職員2名とあわせて4人体制で美術館を運営することができた。

さらに、令和5年度にはパートタイム非常勤の学芸員に替わり「契約コーディネーター」としての職種にて採用を企図しているが、処遇改善を図ったにもかかわらず現在(3/9)採用要件を満たす応募者がいない状況である。

当館としても処遇改善に努めているところではあるが雇用年限に上限があることが少なからず影響しているものと推察され、今後学芸員の安定的確保、及び健全な美術館活動の実現のためにも、学芸員の処遇の改善については喫緊の検討事項となっている。

### (3) 10周年記念事業の開催

佐賀大学美術館は、2013年10月に開館以来2023年同月をもって10周年となることから10周年記念事業の開催に向けて準備を行っている。

(企画内容については、別添資料参照)

### (4) 老朽化に伴う施設管理

令和5年10月をもって10周年を迎える佐賀大学美術館ではすでに老朽化に伴う施設の管理上の問題も顕在化しつつある。例えば1階にある移動壁では天井から吊るしている滑車部に不具合が発生し令和4年度には修理のため750千円の緊急支出があり、また空調設備の一部老朽化に伴う漏水事故が発生、施設運営上にも支障をきたしている状況である。

今後、事件、事故の防止、発生後の対応や予算措置等、施設課などの担当部署とも十分な検討をしていく必要がある。